

開設講習名	【選択】哲学してみよう！		講師	佐野 之人	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 8 月 24 日		時間数	6 時間	受講予定人数 50 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	全教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

日常的な営みを題材にして生徒に哲学的な議論をアクティブに行わせることができる。生徒にどこまでも分からない人間の深みに目覚めさせることができる。

【講習の概要】

「人間とは何か」を哲学する。「初めまして。私は佐野之人です。これから哲学の講座を始めます」という何の変哲もない挨拶、自己紹介、開始の言葉の内に問いなどありえない。そんなことをいちいち問題にしていたら日常の生活は営めない。しかし少し立ち止まって考えてみると、私たちの日常生活の基盤はそれほど確かなものでないことが分かる。「初めまして」とは何だろう、その様に問うてみる。挨拶である。しかも初対面の時の。とりあえずの答えは得られた。しかしさらに問うてみる。「挨拶」とは何だろう。挨拶をするのは多分人間だけだ。それも世界中のどんな人間でも挨拶をしない者はいない。そうすると「挨拶」はどうも人間の本質に関わる重大事である、というような予想がつく。一体「挨拶」の中で何が起きているのだろうか。何故人間は挨拶するのだろうか。また「初めまして」は初対面の時の挨拶だ、と言った。初対面とは「出会い」ということだ。「出会い」とは何だろう。本当に私たちは出会っているのだろうか。こんな問いが次々と湧いて出てくる。これは一例に過ぎない。講習ではこうした挨拶、自己紹介、開始の言葉を皮切りに哲学の問いを立てて、共に哲学する。問いを立てるのも考えるのも受講者である。このような問いを哲学することを通じて、人間が抱えるものを明らかにする。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法：筆記試験

評価基準：講義内容を踏まえていること、哲学になっていることを基準として合否判定します。

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

【受講者への伝達事項】

主体的であること、対話的であること、議論を深めることに心がけてください。